

## 1 学校教育目標

## 教育目標

生徒が意欲的に学ぶ学校づくり「学ぶ 夢見る 支えあう 定時制」

- ① 基礎基本を大切にし、進路への意欲を引き出す取組の実践
- ② 心身ともに健やかで相互に支え合うことのできる生徒の育成
- ③ 社会人としての自覚と感謝する心の育成

## 2 令和5年度に重点をおいて目指す目標・具体策

## ① 学習指導

学ぶ意欲の向上と一人ひとりの学力・個性に応じた指導の工夫

## ② 生徒指導

少人数のよさを生かし、全ての教員と互いに情報を共有しながら心の育成を図るとともに問題行動の未然防止に務める

## ③ 進路指導

生徒一人一人に応じた適切な進路指導の実践とキャリア教育の充実による進路意識の向上

## ④ 健康・保健指導

一人ひとりを大切にされた健全な心と体の育成と併せて検診の事後指導の徹底

## ⑤ 人権教育

人間関係づくりを基盤とした、いじめの未然防止、早期発見・早期対応

## ⑥ 広報

情報発信の充実

## ⑦ 業務改善

教員の協働体制を基盤とした組織力の充実

3 自己評価					
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析
① 学習指導	学ぶ意欲の向上と一人ひとりの学力・個性に応じた指導の工夫	* 基礎学力の定着に向けて個別の学習指導の充実と定期考査に向けての補充学習の一層の充実	4: 定期考査の平均点が70点以上 3: 定期考査の平均点が60点以上70点未満 2: 定期考査の平均点が40点以上60点未満 1: 定期考査の平均点が40点未満	4	2学期の定期考査の平均点は70.0点であった。今後も基礎力向上に向けて指導していきたい。
		* ICTを活用した授業実践と特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサルデザイン化	4: 実践できた科目が20科目以上 3: 実践できた科目が15科目以上19科目以下 2: 実践できた科目が10科目以上14科目以下 1: 実践できた科目が9科目以下	4	多くの教科でタブレットが使用されている。また、支援が必要な生徒に対する配慮も、可能な限り実施されている。
② 生徒指導	少人数のよさを生かし、全ての教員と互いに情報を共有しながら心の育成を図るとともに問題行動の未然防止に務める	* 教育相談担当、及びスクールカウンセラーと連携し教員と生徒との意思疎通に向け更なる工夫改善	4: 教育相談担当、スクールカウンセラーとの連携や生徒との意思疎通は十分図ることができ、問題行動の未然防止につながった 3: 教育相談担当、スクールカウンセラーとの連携や生徒との意思疎通は図ることができ、ある程度の問題行動の未然防止につながった 2: 教育相談担当、スクールカウンセラーとの連携や生徒との意思疎通ある程度図られたが、問題行動の未然防止までにつながらなかった 1: 教育相談担当、スクールカウンセラーとの連携や生徒との意思疎通は図ることができなかった	3	教育相談担当、スクールカウンセラーから、的確なアドバイスをいただき、各教員が情報交換を密に行いながら、全教員で指導にあたり、ある程度問題行動を未然に防止できた。一部の生徒において意識向上などの成果は思うほど上がらなかった点を改善するため、全教員でさらに生徒理解を深めながら今後も指導していきたい。
		* 生徒会活動の見直しと少人数活動の充実	4: 生徒会活動を見直し、少人数を生かした活動が十分できた 3: 生徒会活動を見直し、少人数を生かした活動ができた 2: 生徒会活動の見直しがある程度行えたが、少人数を生かした活動までに至らなかった 1: 生徒会活動の見直しが図れなかった	4	コロナウイルス対策で行われていなかった行事が回復し生徒の活気が戻ってきた、生徒会を中心に生徒の現状や要望に可能な範囲で寄り添う工夫を加えながら行事実施に取り組む事が出来た。
③ 進路指導	生徒一人ひとりに応じた適切な進路指導の実践とキャリア教育の充実による生徒の進路実現意欲の向上	* 担任を中心として、生徒、保護者との個別面談を実施し、進路情報の取得と共有をすすめる。また、関係機関との連携による計画的な進路指導を進める。	4: 保護者懇談や個別面談での情報を共有により、個々に応じた進路指導が実施できた。 3: 保護者懇談や個別面談での情報が共有できたが一部満足はいく進路指導ができなかったが概ね指導できた。 2: 保護者懇談や個別面談での情報を共有したが、十分な進路指導が実施できなかった。 1: 保護者懇談や個別面談での情報共有ができなかった。	4	担任を中心として、情報を共有し連携して就職や進学などに対応できた。就職希望者4人全員が11月中旬に決定した。進学は2/3決定した。1の未定者は通信制大学を希望しており、出願手続き中である。2月中旬に、来年度の卒業予定者への個別面談指導を開始していきたい。
		* 担任を中心として生徒の進路希望を早めに取得し、夏休みなどに進路課外を実施し、生徒の希望実現に向けて、教員間で協力して指導する。	4: 進路課外を実施し、生徒の進路希望の変化などを把握し教員間で進路情報共有ができ、適切な進路指導が実施できた。 3: 進路課外を実施し、教員が協力して適切な進路指導が概ね実施できた。 2: 進路課外を実施したが、連携した進路指導はできなかった。 1: 進路課外が実施できなかった。	4	全学年生徒へのアンケートを実施し、夏休み中に進学や就職などに対応した課外授業を実施できた。特に1、2年生の早い時期からも生徒の希望に沿った進学課外を実施できた。

4 学校関係者評価	
学校関係者からの意見・要望等	評価
生徒が学習に意欲的に取り組んでおり、ICTを活用した学習活動など、基礎力向上につながったと考えられる。引き続き、少人数の良さを生かした丁寧な学習指導をお願いしたい。	A
コロナ後で、生徒会活動など行事が盛んに実施されたことで、生徒が成長する機会を得られている事が伺える。学校と生徒の関係だけでなく、家庭地域の連携も視野に入れて指導をお願いしたい。一人ひとりが主役になれるような、生徒指導をお願いしたい。	B
生徒の多様な希望に応じた、進路指導が行われており良いと思う。引き続き、生徒に寄り添った進路指導を行って、夢見る定時制の実現に寄与してもらいたい。今年度の求人数211件を超える求人をしていただけるよう努力してほしい。	A

評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
④ 健康・保健指導	一人ひとりを大切にしたい健全な心と体の育成と併せて健診の事後指導の徹底	* 生徒一人ひとりを大切にしたい丁寧な指導と養護教諭及びスクールカウンセラー等との密な連絡による適切な指導	4: 円滑な連携のもと、個々の生徒への適切な指導が十分にできた 3: 円滑な連携がとれ、個々の生徒への指導につながった 2: 連携はある程度とれたが、個々の生徒への指導までには至らなかった 1: 連携が十分に取れず、個々の生徒への指導につながらなかった	3	生徒個々についての情報交換を密にしながら、教員がそれぞれの立場から生徒への対応を行い、相談活動の成果がみられる場面もあった。しかし、まだまだ学校生活を上手く送ることに戸惑う生徒もみられるので、今後も努力していきたい。	感染症対策は、日常的に必要なと思うが、適切な健康指導により、学校活動を円滑に進めてほしい。	A
		* 定期健康診断後の未受診者への個別指導や講演会等を利用した医療機関への受診促進	4: 個別指導や講演を通して生徒の健康意識が高まり、大半の生徒の受診行動につながった 3: 個別指導や講演を通して生徒の健康意識を高め、ある程度生徒の受診につながった 2: 個別指導と講演会を実施したが、受診につながらなかった 1: 個別指導、講演会が実施できなかった	4	養護教諭を中心に健診結果による事後指導を行ってきた。生徒個別にも話しかけ、受診率の向上につながった。各種講演会では、各専門分野からの講話を生徒は真剣に聞き入っていた。		
⑤ 人権教育	人間関係づくりを基盤とした、いじめの未然防止、早期発見・早期対応	* 生徒意識調査やFitの調査結果を生かした個別の教育相談やいじめの未然防止のための指導	4: 調査結果を生かした個別の教育相談やいじめの未然防止の指導ができた 3: 調査結果を、個別の教育相談やいじめの未然防止の指導に活かすことができた 2: 調査結果を分析し、個別の教育相談やいじめの未然防止の指導に取り組んだが徹底できなかった 1: 結果を分析できず、個別の教育相談やいじめの未然防止の指導に活かせなかった	4	学校への適応度については、課題のある生徒もおり、個別指導や保護者との連携を今後もとって続けていきたい。学校生活を送る上で、いじめの認知はなく、お互いが、それぞれの人権を尊重している姿勢は見受けられる。	人間関係をうまく構築できる練習と考えると学校生活を送れるよう支援してほしい。いじめの意識がない言動が、いじめにつながらないよう指導していただきたい。	A
⑥ 広報	情報発信の充実	* 各行事等や給食献立の掲載など定時制ホームページ並びに定時制だよりの内容の充実と周知	4: 月1回以上のウェブページの積極的な更新・内容の見直しを行い、保護者等へ十分な情報発信ができた 3: 1か月に1回程度のウェブページの更新・内容の見直しを行い、保護者等へある程度の情報発信ができた 2: 2か月に1回程度のウェブページの更新・内容の見直しを行い、情報発信と周知がややできた 1: 各学期に1回程度しかウェブページの更新・内容の見直し行われず、十分な情報発信ができていなかった	3	行事予定や緊急連絡を中心にウェブページに掲載した。ホームページのリニューアルが行なわれるので、個人情報に留意しつつ情報発信に努める必要がある。	ホームページのリニューアルに合わせて、情報発信を活性化してほしい。情報発信の対象を考えると、ホームページ以外の方法も検討してほしい。	B
⑦ 業務改善	教員の協働体制を基盤とした組織力の充実	* ジョブローテーションと業務の整理・効率化	4: ジョブローテーションが3つ全ての分掌で行われ、業務の整理と効率化が図れた 3: ジョブローテーションが2つの分掌で行われ、業務の整理ができた 2: ジョブローテーションが3つの分掌のうち一つにとどまり、業務の効率化に至らなかった 1: ジョブローテーションが行われず、業務の整理ができていなかった	4	生徒課主任の変更に伴い、主任以外の担当者を兼務を基本としたことで、教務・進路指導・生徒指導の業務を複数の教員で担当しつつ、業務の継承を実施できた。	特定の教員による、業務の固定化が起こらないよう、留意していただきたい。	A

5 学校評価総括(取組の成果と課題)	
① 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の指導、生徒の授業への取り組みは向上している。本年度は本校の現状に応じた評価基準で評価することができた。</li> <li>・次年度は授業での学習活動に対してきめ細かな対応をすることはもちろん、多様な観点から評価していく必要がある。</li> </ul>
② 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生徒達に対して教職員全体で生徒理解に努め、落ち着いた生活態度、授業への取り組みが身につけてきている。</li> <li>・生徒会を中心に学校行事等への自主的な取り組みが活発になった。</li> </ul>
③ 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任を中心として情報を共有、連携して就職や進学などに対応できた。就職希望者4人は全員が内定した。進学者は、4年制大学、専門学校、通信制大学に決定した。</li> </ul>
④ 健康・保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S C、養護教諭、教育相談担当、担任教諭が連携し多様な生徒への対応ができています。</li> <li>・健診結果が良好であり、治癒への取り組みもすすみ健康への意識が向上した。</li> </ul>
⑤ 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で把握したいじめの件数は0であるが、多様な生徒が多いため、今後も生徒の観察をきめ細やかに実施していく。</li> </ul>
⑥ 広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPやメール配信等で保護者への連絡が円滑に実施できるようになった。個人情報に留意しつつ、学校の具体的な取組を保護者に周知できるよう工夫をしたい。</li> </ul>
⑦ 業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌内の業務について、複数の担当で取り組むことができた。</li> <li>・統合型校務支援システムについて、全教員が定時制の枠組の中で円滑に利用できるようになった。</li> </ul>

6 次年度への改善策	
① 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点による評価基準を各教科ごとに明確に生徒に示し、生徒のモチベーションの向上を図る。</li> <li>・基礎学力のさらなる向上を目指し、授業を工夫する。</li> </ul>
② 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員がそれぞれの役割で、生徒個々が自分と向き合い学校生活の中に目標を見つけて取り組める支援をすすめる</li> </ul>
③ 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度に引き続き担任を中心に生徒個人面談を進め、進路希望を早めに把握し生徒の進路決定にかかわる情報を積極的に提供し、生徒各自の進路選択に役立てるようにする。</li> </ul>
④ 健康・保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き教育相談体制を教職員全体で充実させる取り組みを継続し、個々の生徒に対応した支援を図る。</li> <li>・健診後の事後指導の徹底を継続する。</li> </ul>
⑤ 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者面談やHPを利用して、いじめの未然防止についての取組を保護者に積極的に周知する</li> </ul>
⑥ 広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページがリニューアルされる中で、適切な情報発信を図る。</li> </ul>
⑦ 業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末だけの校務利用が適切に行えるよう教職員への支援を図る。</li> </ul>